



青木 亮人氏プロフィール

青木亮人（あおき・まこと）

昭和49（1974）年、北海道小樽市生まれ。
同志社大学文学部文化学科国文学専攻卒業、同大学院を修了。博士（国文学）。
現在、愛媛大学教育学部准教授。

主要論文に、

「スケートリンクの沃度丁幾 —山口誓子『凍港』の連作俳句について—」（『スポーツする文学』青弓社、平成21年）、
「「道」と「文学」—明治の「庶民教化」と子規の俳句革新について—」（『国語と国文学』87巻6号、平成22年）、
「明治の椿はいかに落ちたか —俳句「赤い椿白い椿と落ちにけり」を読む—」（『日本文学』60巻1号、平成23年）、
「明治の蕪村調、その実態 —俳人漱石の可能性について—」（『日本近代文学』84集、平成23年）など。

俳誌「翔臨」「静かな場所」「円座」「白茅」等で連載中、またエフエムいたみ「ことばの花束」に定期出演中。
来年に明治期の正岡子規及び俳諧宗匠に関する学術論文書を刊行予定。

〈評論『その眼、俳人につき 正岡子規、高浜虚子から平成まで』より転載〉
〈2013年9月30日時点〉

